

第7回
「就職したい企業・業種ランキング」
調査

2021年3月
あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社
<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第7回「就職したい企業・業種ランキング」調査

2. 調査方法

インターネット調査

3. 調査エリア

全国

4. 期間

2021年1月19日(火)～2021年2月1日(月)

5. 調査対象者

2022年3月卒業予定の大学3年生男女個人

6. 調査対象企業と選定方法

各業界の大手企業・組織 200社を抽出

7. 有効回収数

500サンプル

8. 回答者の属性

性別・文理別

	文系	理系	合計
男性	126	124	250
女性	125	125	250
合計	251	249	500

地域

北海道	東北	関東	中部	近畿	中・四国	九州	合計
15	27	224	79	83	38	34	500

※地域は、現在の所在地を集計

1. 調査結果

[1] 「就職したい企業・業種ランキング」／ランキング結果

「就職したい企業・業種ランキング」のランキング1位は「地方公務員」(回答率 23.8%)であった。次いで「国家公務員」が2位(同 14.6%)、「グーグル(Google)」が3位(同 7.6%)となり、以下4位「明治」(同 6.6%)、5位「アマゾン(Amazon)」(同 6.0%)、6位「味の素」(同 5.4%)、7位「日本赤十字社」(同 5.2%)、8位「森永乳業」(同 4.6%)と続いた。

前回調査結果と比較したところ、3年連続で1位「地方公務員」、2位「国家公務員」、3位「グーグル(Google)」となった。トップ3は、依然として学生からの人気を得ており、公務員の人気が続いている。

前回からランクアップした企業では、「東日本旅客鉄道(JR東日本)」(前回 18 位→今回9位)と「東海旅客鉄道(JR東海)」(前回 64 位→今回 13 位)の鉄道業2社や、「ソニー」(前回 17 位→今回9位)、「パナソニック」(前回 87 位→今回 13 位)、「日立製作所」(前回 36 位→今回 20 位)などの電気機械器具製造業、「集英社」(前回 64 位→今回 19 位)や「講談社」(前回 64 位→今回 20 位)などの出版業が目立っている。

一方、前回からランクダウンした企業では、「花王」(前回9位→今回 33 位)、「キューピー」(前回 12 位→今回 33 位)、「セコム」(前回 12 位→今回 28 位)、「全日本空輸(ANA)」(前回 18 位→今回 85 位)がトップ 20 から順位を落とす結果となった。

業種としては、飲食料品製造業が6社(明治、味の素、森永乳業、日清食品、山崎製パン、サントリー)と最も多い結果となった。次いで、IT関連(グーグル(Google)、アマゾン(Amazon)、LINE)が3社、医療関連(日本赤十字社、大塚製薬)が2社となった。いずれも学生にとって日常生活で身近な商品・サービスを扱っている企業に人気が集まっていることが結果として表れている。(図表A)

[2] 「就職したい企業・業種ランキング」／選択理由

就職したい企業を選択した理由について自由回答で尋ねたところ、1位の「地方公務員」については、「安定している」、「地元に戻りたい」、「地元で貢献したい」といった回答が多く見られ、2位の「国家公務員」では「安定している」のほか、「外交に携わりたい」、「国の施設での研究に携わりたい」など、より具体的な仕事を意識した回答が見られた。

3位の「グーグル(Google)」では、「知名度が高い」や「社風が自由そう」、「収入が多そう」といった回答が見られたほか、上位 20 社中6社がランクインした飲食料品製造業に関しては、「知名度がある」、「その企業の商品が好き」といった回答が多く、事業内容への興味や憧れ、企業の知名度や商品・サービスへの興味等が多く見られた。(図表B)

[3] 「就職したい企業・業種ランキング」／文理別比較

就職先として望む会社を文系・理系別に集計したところ、文理ともに「地方公務員」(回答率 文系 27.5%、理系 20.1%)、「国家公務員」(同 文系 16.3%、理系 12.9%)がトップ2を占めた。

文系学生においては、出版業2社「集英社」、「講談社」がともに上位5位以内にランクインしている。一方、理系学生においては、電気機器製造業が4社(パナソニック、日立製作所、ソニー、シ

ヤープ)、医療関連が4社(日本赤十字社、大塚製薬、武田製薬、アステラス製薬)がランクインしており、自身が大学で学んできた専門知識を活かせる業種への就職を希望する傾向がうかがえる。(図表C)

[4] 就職したい企業・業種ランキング／男女比較

就職先として望む会社を男女別に集計したところ、男性が望む就職先のランキング1位は、「地方公務員」(回答率 22.8%)、2位「国家公務員」(同 13.2%)、3位「グーグル(Google)」(同 9.6%)となった。一方、女性が望む就職先のランキング1位は、「地方公務員」(回答率 24.8%)、2位「国家公務員」(同 16.0%)、3位「明治」(同 10.8%)となっている。

男性においては、鉄道業2社(東日本旅客鉄道(JR東日本)、東海旅客鉄道(JR東海))や電気機械器具製造業4社(ソニー、パナソニック、三菱電機、日立製作所)がトップ 20 にランクインしている。一方、女性においては、男性に人気の鉄道業や電気機械器具製造業は、ほぼランクインせず、飲食品製造業7社(明治、森永乳業、味の素、日清食品、山崎製パン、キューピー、ヤクルト)、医療関連3社(日本赤十字社、大塚製薬、アステラス製薬)の人気の高い結果となった。

男女のトップ 20 に共通する企業は、20 社中9社となった。公務員のほか、「グーグル(Google)」、「アマゾン(Amazon)」、「LINE」などのIT関連が共通して人気となっている。(図表D)

[5] 「就職したい企業・業種ランキング」／業種別

就職したい業種について集計したところ、1位が「公的機関・その他」(回答率 14.8%)となり、2位「IT・情報通信」(同 10.4%)、3位「金融・法人向けサービス」、「食品・農業」(同 6.8%)となった。上位2業種は前回順位から変わらず、引続き高い人気となっている。

文理別では、文系学生において「公的機関・その他」(文系回答率 20.3%)に人気を集める一方、理系学生では、「IT・情報通信」(理系回答率 11.6%)、「食品・農業」(同 10.4%)、「公的機関・その他」(同 9.2%)の3業種に人気分散している。

男女別では、男性の人气が「IT・情報通信」(男性回答率 14.4%)と「公的機関・その他」(同 13.2%)の2業種に人気を集まっており、女性では「公的機関・その他」(女性回答率 16.4%)のほか、「生活用品・サービス」(同 9.6%)や「食料・農業」(同 9.2%)の人气が高い。(図表E)

就職したくない業種について集計したところ、1位が「金融・法人向けサービス」(同 14.4%)、2位が「小売・外食」(同 13.0%)、3位が「運輸・物流」(同 8.6%)となった。上位2業種は前回順位から変わらず、引続き就職したくない業種となっている。

なお、「金融・法人向けサービス」は就職したい業種にも3位にランクインしており、好き嫌いが大きく分かれる業種といえよう。(図表F)

[6] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職先選定において気になる点

就職先の選定において気になる点について調査したところ、「給与額」(回答率 54.6%)が1位、「福利厚生」(同 34.2%)が2位、「雇用形態(正社員・契約社員など)」(同 30.4%)が3位となり、以下「残業時間」(同 27.0%)、「勤務地」(同 25.2%)と続いた。前回との比較では、引続き「給与額」への関心が高く、半数以上の学生が就職先選定の重要な点としている。また、「福利厚生」や「雇

用形態」への関心も変わらず高い。(図表G)

[7] 「就職したい企業・業種ランキング」／最低限実現したい生涯最高年収

「給与額」について、最低限実現したい生涯最高年収を調査したところ、「500万円以上 600万円未満」(同 13.4%)が最も多く、「600万円以上 700万円未満」、「1,000万円以上 1,500万円未満」(各同 12.8%)が2位となった。民間給与実態統計調査(令和元年度)によると、民間企業の平均年収は436万円となっており、500万円以上 700万円未満に回答が集中していることを考慮すると、「平均よりも少し高い程度の給与額があれば良い」と考えている学生が多く存在していることがわかる。(図表H)

[8] 「就職したい企業・業種ランキング」／情報収集手段

就職先の選定における情報収集手段としては、「企業のホームページ・パンフレット」(同 66.0%)が圧倒的に多く、次いで「上記以外のインターネット情報」(同 27.0%)、「SNS」(同 23.0%)、「友人・知人」(同 22.4%)、「親」(同 13.6%)と続いた。1～3位をみると、他者からの情報収集ではなく、「インターネット情報」を「個人」で入手する方法が、就職活動における主流となっていることがうかがえる。(図表I)

[9] 「就職したい企業・業種ランキング」／就職活動状況

理想の就職活動開始時期について調査を行ったところ、前回同様「大学3年生前期(同 37.4%)」と「大学3年生後期(同 28.2%)」の回答率が高い。

理想の内定希望時期としては、「大学4年生前期(同 62.8%)」が前回から変わらず高い回答率となっている。(図表J)

実際に就職活動を開始した時期について調査したところ、「大学4年生」(回答率 33.6%)が最も多く、次いで「大学3年生 1～3月」(同 14.2%)が2位となった。昨年から、就職活動の開始時期を自由とする「就活ルール」が廃止され、学生の就職活動開始時期が早期化しているが、今のところ実際の活動時期に変化は見受けられない。

また、就職活動開始時期と進捗状況を調査したところ、内々定を獲得している学生の半数以上は、「大学1、2年生」から就職活動を開始しており、就職活動開始時期が早いほど、内々定を取得できる割合が高いことが表れている。(図表K)

[10] 「就職したい企業・業種ランキング」／意思決定手段

最後に、就職先を選定する際の意思決定手段について尋ねたところ、1位が「親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」(同 40.8%)、2位が「自分の意志のみで決める」(同 34.4%)となり、次いで「友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める」(同 17.6%)が3位となった。[8]において、インターネットを使って個人で就職活動に関する情報を収集するとの意見が多かったが、最終的な意思決定の際には、親の意見も参考にしている様子がうかがえる結果となった。(図表L)

2. 総評

厚生労働省発表の2020年平均の有効求人倍率は、1.18倍と前年比0.42ポイントの大幅な低下となった。厳しい雇用情勢となる中、学生がどのような意識で就職活動に臨んでいるか調査したのが、「就職したい企業・業種ランキング」アンケートである。

アンケートの結果は、就職したい企業1位「地方公務員」、2位「国家公務員」となった。公務員は、男女別・文理別いずれの調査においてもトップ2であり、前回から引続き公務員の安定的な人気を表れた結果となった。公務員を選択した理由としては、「安定しているから」が多数を占めており、学生の安定志向がうかがえる。民間企業では、「IT関連企業」や「飲食料品製造業」の人气が引続き高く、学生が就職を希望する企業の傾向に大きな変化は見受けられない。

業種別では、公務員を含む「公的機関・その他」、「IT・情報通信」が前回順位から変わらず人気となっている。文理別では文系学生の5人に1人が「公的機関・その他」を志望している一方、理系学生では、「IT・情報通信」、「食品・農業」、「公的機関・その他」の3業種に人气が分散しており、理系学生が、自身の専門知識を活かせる業種への就職を希望している様子がうかがえる。

就職先選定において気になる点では、引続き「給与額」と「福利厚生」が高い選択率となっており、企業選定の最重要ポイントとなっている。また、希望する給与額は、過去の結果と同様に「平均よりも少し高い程度の給与額があれば良い」と考える学生が多い様子がうかがえる。

昨年より、就職活動の開始時期を自由とする「就活ルール」が廃止され、学生の就職活動開始時期が自由となっているが、就職活動状況からは今のところ大きな変化は見受けられない。

新型コロナウイルスの感染拡大により、生活が大きく変化する中、本アンケートの結果によると、公務員の人气が変わらず高く、就職したい企業や業種の上位にも変化は見受けられないことから、学生の就職に対する見方に大きな変化はないといえそうだ。

一方、直近1年で雇用を取り巻く環境は大幅に変化した。テレワークの普及により、出社が当たり前の環境ではなくなり、事業説明会やインターンシップ等の就職関連活動は、オンライン開催に移行している。学生としては、会社の実態が知りにくくなっていると同時に、企業としても自社の魅力を伝えるにくくなっているといえよう。

様々な業界において景況に大きな変動が生じており、先が見えにくい環境の中で、学生達は就職という人生における大きな決断をしなければならない。就職先について理解が不十分なまま入社し、結果として短期間で退職するようなミスマッチが生じないよう、学生は志望先について十分に調査してもらいたい。そして、企業には、採用活動がお互いにとって最良の結果となるように、今まで以上に自社について正しく理解してもらえるように努めていくことを望みたい。

図表A 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト 20

(n=500/複数回答)

今回 順位	変動		就職先	都道府県	業種	回答率
1	→	(+0)	地方公務員	-	公務	23.8%
2	→	(+0)	国家公務員	-	公務	14.6%
3	→	(+0)	Google	東京都	インターネット付随サービス業	7.6%
4	↑	(+4)	明治	東京都	食料品製造業	6.6%
5	→	(+0)	アマゾン	東京都	無店舗小売業	6.0%
6	↓	(▲2)	味の素	東京都	食料品製造業	5.4%
7	↓	(▲1)	日本赤十字社	東京都	医療事業	5.2%
8	↑	(+4)	森永乳業	東京都	食料品製造業	4.6%
9	↑	(+8)	ソニー	東京都	電気機械器具製造業	3.8%
9	↑	(+9)	東日本旅客鉄道(JR東日本)	東京都	鉄道業	3.8%
11	↑	(+15)	全国農業協同組合連合会(JA全農)	東京都	政治・経済・文化団体	3.6%
12	→	(+0)	日清食品	東京都	食料品製造業	3.4%
13	↓	(▲4)	日本郵便	東京都	郵便・物流事業	3.2%
13	↓	(▲7)	LINE	東京都	インターネット付随サービス業	3.2%
13	↓	(▲4)	大塚製薬	東京都	医薬品製造業	3.2%
13	↑	(+23)	富士フイルム	東京都	化学工業	3.2%
13	↑	(+74)	パナソニック	大阪府	電気機械器具製造業	3.2%
13	↑	(+51)	東海旅客鉄道(JR東海)	愛知県	鉄道業	3.2%
19	↑	(+45)	集英社	東京都	映像・音声・文字情報制作業	3.0%
20	↓	(▲6)	山崎製パン	東京都	食料品製造業	2.8%
20	↓	(▲8)	サントリー	大阪府	飲料・たばこ・飼料製造業	2.8%
20	↑	(+16)	日立製作所	東京都	電気機械器具製造業	2.8%
20	↑	(+44)	講談社	東京都	映像・音声・文字情報制作業	2.8%

図表B 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / ランキングベスト20 選択理由

順位	企業名	選んだ理由	性別・文理
1	地方公務員	定時に終われるから	男性・文系
1	地方公務員	地元に戻れるし、安定しているから	女性・文系
1	地方公務員	地元で貢献したい	男性・文系
1	地方公務員	親が公務員だから	男性・理系
1	地方公務員	地元で働きたいから	男性・文系
1	地方公務員	子どもたちに教える仕事をしたいから	女性・文系
1	地方公務員	転職の範囲が狭いし、やりたいことが地方公務員に一番近いから	女性・文系
1	地方公務員	収入が安定しているから	女性・文系
1	地方公務員	子供たちに教えたい	男性・文系
1	地方公務員	できるだけ地元の近くにいたいから	男性・文系
1	地方公務員	福利厚生が良いから	男性・文系
1	地方公務員	安定した収入を得られ、休日もしっかり取れる	男性・文系
1	地方公務員	安定していて休みも貰いやすい	男性・文系
1	地方公務員	地元で就職したいから	男性・文系
1	地方公務員	安定していて福利厚生が良いから	男性・文系
1	地方公務員	安定しているから	男性・文系
1	地方公務員	地元で貢献したいから	男性・文系
1	地方公務員	安定している業種であるため	男性・理系
1	地方公務員	転職をしなくて良いから	男性・理系
1	地方公務員	地域と密着できる仕事ができるから	男性・文系
2	国家公務員	外交に携わりたいから	女性・文系
2	国家公務員	看護学校に通っているため	女性・文系
2	国家公務員	昔から目指している	男性・文系
2	国家公務員	自分の興味のあることができそうだし、同時に安定しているから	女性・文系
2	国家公務員	雇用形態や給与などにおいて比較的安定している職業であるから	男性・文系
2	国家公務員	安定しているから	男性・文系
2	国家公務員	自分がなりたい職業だから	女性・文系
2	国家公務員	収入が安定しているイメージがあり、定年まで働けそうだから	女性・文系
2	国家公務員	学んできたことを活かしたいから	男性・文系
2	国家公務員	安定しそうだから	男性・文系
2	国家公務員	楽しんで仕事が出来そうだから	男性・文系
2	国家公務員	やりがいがあると思うから	男性・文系
2	国家公務員	国の施設での研究に携わりたいから	男性・文系
2	国家公務員	野生動植物の保護等に興味があるため	男性・文系
2	国家公務員	あこがれているから	男性・文系
2	国家公務員	国に貢献したいから	男性・理系
2	国家公務員	安定していて、かつ利潤を求めない特徴が好きだから	男性・理系
3	Google	収入が多そうだから	男性・理系
3	Google	自由な社風のイメージだから	男性・文系
3	Google	知名度が高いから	男性・理系
4	明治	色んな商品があるから	男性・文系
4	明治	商品のイメージから、楽しそうだから	女性・文系
4	明治	お菓子製品開発に興味があるから	男性・文系
4	明治	有名で安泰だから	男性・文系
4	明治	福利厚生がよさそうだから	男性・文系
4	明治	明治の商品が好きだから	男性・文系
4	明治	大手だから	男性・文系
4	明治	明治の食育業務に携わりたいため	男性・文系
5	アマゾン	給料が高いから	男性・理系
5	アマゾン	世界で活躍している企業	男性・理系
6	味の素	食品系に進みたいから	男性・理系
6	味の素	食にまつわる仕事をしたいから	男性・文系
6	味の素	待遇が良い	男性・理系
6	味の素	有名だから	男性・理系
6	味の素	食品メーカーとして有名であるから	男性・文系
6	味の素	将来性があり、地球と人間と会社の共存を元に事業を進めているから	男性・理系

順位	企業名	選んだ理由	性別・文理
7	日本赤十字社	薬学部で病院希望で、一番近いから	男性・文系
7	日本赤十字社	インターンシップに参加していいと思ったから	男性・文系
7	日本赤十字社	医療に携わりたいから	男性・文系
7	日本赤十字社	看護師を目指しているから医療に繋がりがあるところが良かった	男性・文系
7	日本赤十字社	看護大学に通学しているため	男性・文系
7	日本赤十字社	看護師として災害派遣参加したい	男性・理系
8	森永乳業	お菓子が好きだから	女性・文系
8	森永乳業	好きでよく利用しているから	女性・文系
8	森永乳業	歴史ある企業で、身近にある商品であるため消費者に寄り添った商品を作りたいと考えたから	男性・文系
9	ソニー	音楽が好きでそれに近いものに携わることができそうだから	女性・文系
9	ソニー	好きなアーティストがいるから	男性・文系
9	東日本旅客鉄道(JR東日本)	自分のやりたいことができる	男性・文系
9	東日本旅客鉄道(JR東日本)	日頃からお世話になっている近隣路線の活性化に貢献したいから	男性・理系
11	全国農業協同組合連合会(JA全農)	安定しているから	女性・文系
11	全国農業協同組合連合会(JA全農)	地域とのつながりがあるから	女性・文系
11	全国農業協同組合連合会(JA全農)	グループが大きく、少なくとも倒産しないという安定性があるため	女性・文系
1	全国農業協同組合連合会(JA全農)	農業に関わることをやりたいから	男性・文系
12	日清食品	その企業の商品が好きだから	女性・文系
12	日清食品	食品会社で国内大手	男性・文系
12	日本郵便	自分に合っている職業だと思うし、興味があるから	女性・文系
12	日本郵便	土日休みで、安定しているから	女性・文系
12	日本郵便	アルバイトをしてみて魅力を感じたから	男性・理系
13	LINE	世界的にも有名で潰れないと思うから	女性・文系
13	LINE	個性的で、さまざまなサービスを出していて、興味深いから	男性・文系
13	LINE	裁量権がありそだから。サービスが多様化しているから	女性・文系
13	LINE	1番自分に身近な企業だから	男性・文系
13	大塚製薬	医療用品から食品まで手がけていて幅広い事業を行っているイメージがあるから	男性・文系
13	大塚製薬	製薬に興味があるから	男性・文系
13	大塚製薬	景気に左右されにくい	男性・文系
13	大塚製薬	製薬会社に勤めたいから	男性・理系
13	富士フィルム	自分の学問を活かせる	男性・文系
13	富士フィルム	写真店でバイトをしたので写真の仕事に就きたいと思った	男性・文系
13	パナソニック	独創性の高い製品を世に送り出しているから	男性・理系
13	パナソニック	大手企業でIT分野でも活躍しているから	男性・理系
13	東海旅客鉄道(JR東海)	堅実な体制などが好きな企業だから	男性・文系
13	東海旅客鉄道(JR東海)	鉄道が好きだから	女性・文系
19	集英社	集英社の本を読んでもることが多いから	男性・文系
19	集英社	好きだから	男性・理系
19	集英社	出版社だから	男性・文系
20	山崎製パン	有名なメーカーだから	女性・文系
20	山崎製パン	商品が好き	男性・文系
20	山崎製パン	説明会にも参加させて頂いて、企業の理念にも共感した。パン業界ではトップで影響力もあるから	男性・理系
20	サントリー	酒類に関心があるから	男性・文系
20	サントリー	企業の雰囲気がいいため	男性・理系
20	日立製作所	大手だし健全なイメージ	男性・理系
20	日立製作所	やりたいことが出来そう	男性・理系
20	日立製作所	自分の学科の専門に近いから	男性・理系
20	講談社	出版業に興味があるため	女性・文系
20	講談社	出版社に興味がある	女性・文系

図表C 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 文理別ランキング

(n=500/複数回答)

文系			理系		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	27.5%	1	地方公務員	20.1%
2	国家公務員	16.3%	2	国家公務員	12.9%
3	Google	6.8%	3	日本赤十字社	9.6%
4	アマゾン	6.0%	4	Google	8.4%
5	明治	5.2%	5	明治	8.0%
5	日本郵便	5.2%	6	味の素	7.2%
5	LINE	5.2%	7	アマゾン	6.0%
5	集英社	5.2%	7	パナソニック	6.0%
5	講談社	5.2%	9	大塚製薬	5.6%
10	森永乳業	4.4%	10	東日本旅客鉄道(JR東日本)	5.2%
11	味の素	3.6%	10	日立製作所	5.2%
11	全国農業協同組合連合会(JA全農)	3.6%	12	森永乳業	4.8%
11	楽天	3.6%	12	日清食品	4.8%
14	ソニー	3.2%	12	武田薬品	4.8%
14	サントリー	3.2%	12	アステラス製薬	4.8%
14	セコム	3.2%	16	ソニー	4.4%
14	オリエンタルランド	3.2%	16	富士フイルム	4.4%
18	東海旅客鉄道(JR東海)	2.8%	18	トヨタ自動車	4.0%
18	ユーキャン	2.8%	18	キューピー	4.0%
18	日本航空(JAL)	2.8%	20	全国農業協同組合連合会(JA全農)	3.6%
18	エイチ・アイ・エス(HIS)	2.8%	20	東海旅客鉄道(JR東海)	3.6%
18	東宝	2.8%	20	ヤクルト	3.6%
18	三井住友銀行	2.8%	20	シャープ	3.6%

※背景色有りは、文理で共通している企業

図表D 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 男女別ランキング

(n=500/複数回答)

男性			女性		
順位	就職先	回答率	順位	就職先	回答率
1	地方公務員	22.8%	1	地方公務員	24.8%
2	国家公務員	13.2%	2	国家公務員	16.0%
3	Google	9.6%	3	明治	10.8%
4	アマゾン	6.4%	4	森永乳業	8.4%
5	東日本旅客鉄道(JR東日本)	5.6%	5	日本赤十字社	7.6%
6	東海旅客鉄道(JR東海)	5.2%	6	味の素	6.0%
7	味の素	4.8%	7	Google	5.6%
7	ソニー	4.8%	7	アマゾン	5.6%
7	パナソニック	4.8%	9	資生堂	4.8%
7	トヨタ自動車	4.8%	10	全国農業協同組合連合会(JA全農)	4.0%
11	NTTドコモ	4.4%	10	大塚製薬	4.0%
12	三菱電機	3.6%	10	グリコ	4.0%
12	日立製作所	3.6%	13	日清食品	3.6%
12	集英社	3.6%	13	日本郵便	3.6%
15	LINE	3.2%	13	山崎製パン	3.6%
15	日清食品	3.2%	13	キューピー	3.6%
15	富士フイルム	3.2%	17	LINE	3.2%
15	楽天	3.2%	17	富士フイルム	3.2%
15	全国農業協同組合連合会(JA全農)	3.2%	17	ヤクルト	3.2%
15	セコム	3.2%	17	アステラス製薬	3.2%
			17	コーセー	3.2%
			17	サンリオ	3.2%

※背景色有りは、男女で共通している企業

図表E 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職したい業種ランキング

(n=500/単一回答)

順位	業種	全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	公的機関・その他 (公務員、JA、士業など)	14.8%	15.8%	20.3%	9.2%	13.2%	16.4%
2	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	10.4%	8.9%	9.2%	11.6%	14.4%	6.4%
3	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	6.8%	4.6%	10.0%	3.6%	8.8%	4.8%
3	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	6.8%	7.9%	3.2%	10.4%	4.4%	9.2%
5	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	6.2%	4.6%	5.2%	7.2%	2.8%	9.6%
6	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	5.0%	2.5%	2.4%	7.6%	9.2%	0.8%
7	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	4.8%	1.8%	3.6%	6.0%	5.6%	4.0%
8	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	3.8%	2.3%	6.0%	1.6%	2.4%	5.2%
9	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	3.6%	2.5%	0.8%	6.4%	6.0%	1.2%
10	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	3.2%	5.1%	4.4%	2.0%	4.4%	2.0%
11	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、テーマパークなど)	3.0%	4.3%	5.2%	0.8%	2.0%	4.0%
12	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学など)	2.0%	3.6%	0.8%	3.2%	2.8%	1.2%
13	小売・外食 (コンビニ、スーパー、百貨店、外食など)	1.8%	2.8%	2.4%	1.2%	1.6%	2.0%
14	卸売 (総合商社、専門商社)	1.0%	1.8%	1.6%	0.4%	2.0%	0.0%

※背景色有りは、上位3項目

図表F 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職したくない業種ランキング

(n=500/単一回答)

順位	業種	全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	金融・法人向けサービス (銀行、証券、クレジット、保険など)	14.4%	14.2%	15.1%	13.7%	15.6%	13.2%
2	小売・外食 (コンビニ、スーパー、百貨店、外食など)	13.0%	14.0%	10.4%	15.7%	14.0%	12.0%
3	運輸・物流 (鉄道、空運、海運、陸運など)	8.6%	7.6%	7.6%	9.6%	7.2%	10.0%
4	自動車・重機械 (自動車、自動車部品、二輪車など)	8.0%	9.4%	7.6%	8.4%	6.8%	9.2%
5	メディア (広告、新聞、新聞、出版、印刷など)	6.4%	6.4%	4.4%	8.4%	6.0%	6.8%
6	建設・不動産 (建設、不動産、建材など)	6.0%	4.3%	7.2%	4.8%	6.0%	6.0%
7	エンタメ・レジャー (音楽、映画、ゲーム、テーマパークなど)	5.0%	5.1%	4.0%	6.0%	4.4%	5.6%
8	IT・情報通信 (IT情報サービス、通信サービスなど)	4.2%	6.4%	5.2%	3.2%	4.4%	4.0%
9	公的機関・その他 (公務員、JA、士業など)	4.0%	4.3%	4.8%	3.2%	5.2%	2.8%
10	電機・精密 (白物家電、パソコン、電子部品など)	3.6%	4.6%	4.8%	2.4%	5.6%	1.6%
11	エネルギー・資源・素材 (石油、電力、ガス、鉄鋼、化学など)	2.8%	3.1%	2.8%	2.8%	2.4%	3.2%
11	食品・農業 (食品、飲料、農産物など)	2.8%	2.0%	2.0%	3.6%	2.4%	3.2%
13	生活用品・サービス (医薬品、化粧品、スポーツ用品など)	1.4%	1.0%	1.2%	1.6%	2.4%	0.4%
14	卸売 (総合商社、専門商社)	1.0%	1.3%	1.2%	0.8%	1.2%	0.8%

※背景色有りは、上位3項目

図表G 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定において気になる点

(n=500/複数回答)

順位		全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	給与額	54.6%	59.8%	49.0%	60.2%	56.0%	53.2%
2	福利厚生	34.2%	30.3%	31.5%	36.9%	25.2%	43.2%
3	雇用形態(正社員・契約社員など)	30.4%	27.2%	27.1%	33.7%	36.4%	24.4%
4	残業時間	27.0%	34.9%	27.1%	26.9%	26.8%	27.2%
5	勤務地	25.2%	24.7%	27.5%	22.9%	22.0%	28.4%
6	転勤や異動の頻度	10.8%	7.9%	11.2%	10.4%	11.6%	10.0%
6	教育・研修制度	10.8%	9.4%	9.2%	12.4%	8.0%	13.6%
8	労働時間の規則性	10.4%	12.2%	8.8%	12.0%	13.2%	7.6%
9	サービス残業の有無	8.6%	12.5%	8.8%	8.4%	9.2%	8.0%
10	離職率	8.0%	12.2%	10.0%	6.0%	6.8%	9.2%
11	テレワークの実施状況	5.8%	-	6.4%	5.2%	6.8%	4.8%
11	職種(ホワイトカラーorブルーカラー)	5.8%	2.5%	6.0%	5.6%	7.2%	4.4%
13	ノルマの有無・内容	5.6%	6.6%	8.0%	3.2%	4.4%	6.8%
14	社内イベント・飲み会の頻度	2.6%	4.1%	3.6%	1.6%	4.8%	0.4%
15	その他	5.0%	7.1%	5.6%	4.4%	4.8%	5.2%

※背景色有りは、上位3項目

図表H 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 最低限実現したい生涯最高年収

(n=500/単一回答)

No.		全体	文系	理系	男性	女性
1	300万円未満	7.2%	9.2%	5.2%	7.6%	6.8%
2	300万円以上400万円未満	9.6%	12.0%	7.2%	6.8%	12.4%
3	400万円以上500万円未満	11.0%	11.2%	10.8%	8.4%	13.6%
4	500万円以上600万円未満	13.4%	13.1%	13.7%	10.0%	16.8%
5	600万円以上700万円未満	12.8%	12.0%	13.7%	11.2%	14.4%
6	700万円以上800万円未満	9.8%	8.8%	10.8%	9.6%	10.0%
7	800万円以上900万円未満	7.2%	7.6%	6.8%	7.6%	6.8%
8	900万円以上1,000万円未満	5.2%	4.4%	6.0%	7.6%	2.8%
9	1,000万円以上1,500万円未満	12.8%	11.6%	14.1%	16.0%	9.6%
10	1,500万円以上2,000万円未満	1.8%	0.8%	2.8%	2.4%	1.2%
11	2,000万円以上2,500万円未満	1.2%	1.6%	0.8%	1.2%	1.2%
12	2,500万円以上	8.0%	8.0%	8.0%	11.6%	4.4%

※背景色有りは、上位3項目

図表I 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定における情報収集手段

(n=500/複数回答)

順位		全体		文系	理系	男性	女性
		今回	前回				
1	企業のホームページ・パンフレット	66.0%	69.2%	59.4%	72.7%	66.4%	65.6%
2	上記以外のインターネット情報	27.0%	22.9%	27.1%	26.9%	25.6%	28.4%
3	SNS	23.0%	27.0%	22.7%	23.3%	23.6%	22.4%
4	友人・知人	22.4%	24.9%	19.9%	24.9%	22.8%	22.0%
5	親	13.6%	11.7%	13.9%	13.3%	12.4%	14.8%
6	会社四季報	9.2%	11.5%	9.6%	8.8%	11.6%	6.8%
7	上記以外の書籍・雑誌	7.2%	6.1%	5.2%	9.2%	6.8%	7.6%
8	企業の株価	6.4%	5.1%	5.6%	7.2%	8.0%	4.8%
9	有価証券報告書	5.4%	3.3%	5.6%	5.2%	8.0%	2.8%
10	企業の格付	5.2%	3.6%	2.8%	7.6%	4.8%	5.6%
11	新聞	4.8%	6.6%	6.0%	3.6%	6.0%	3.6%
12	会社番付なう	2.2%	1.8%	2.0%	2.4%	3.2%	1.2%

※背景色有りは、上位3項目

図表J 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 理想の就職活動開始希望時期・内定希望時期

(n=500/単一回答)

順位	学年	就職活動開始希望時期		内定希望時期		実際の就職活動開始時期	
		今回	前回	今回	前回	今回	前回
1	大学1年生	4.2%	3.3%	0.6%	1.0%	3.6%	2.5%
2	大学2年生	16.0%	9.7%	0.4%	0.5%	13.6%	14.2%
3	大学3年生前期	37.4%	35.6%	3.0%	1.3%	22.2%	22.4%
4	大学3年生後期	28.2%	34.4%	11.6%	12.0%	27.0%	23.4%
5	大学4年生前期	9.6%	9.7%	62.8%	68.2%	33.6%	37.4%
6	大学4年生後期	4.6%	7.4%	21.6%	17.0%		

※背景色有りは、上位1項目

図表K 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職活動開始時期別 就職活動進捗状況

(n=500/単一回答)

No.	就職活動開始時期	全体	内々定を取得している企業が1社以上ある	採用面接に進んでいる企業が1社以上ある	インターンシップに参加している	企業説明会に参加している	自己分析、業界・企業研究をしている
1	大学1年生	3.6%	21.1%	0.0%	4.7%	1.9%	1.7%
2	大学2年生	13.6%	36.8%	33.3%	18.7%	19.2%	11.7%
3	大学3年生 4月～6月	11.0%	31.6%	30.3%	15.9%	11.5%	10.0%
4	大学3年生 7月～9月	11.2%	5.3%	12.1%	24.3%	13.5%	13.3%
5	大学3年生 10月～12月	12.8%	5.3%	21.2%	22.4%	25.0%	21.7%
6	大学3年生 1月～3月	14.2%	0.0%	3.0%	10.3%	17.3%	20.0%
7	大学4年生	33.6%	0.0%	0.0%	3.7%	11.5%	21.7%

※背景色有りは、上位2項目

図表L 第7回「就職したい企業・業種ランキング」アンケート / 就職先選定における意思決定手段

(n=500/単一回答)

順位		全体	文系	理系	男性	女性
1	親の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	40.8%	36.7%	45.0%	34.4%	47.2%
2	自分の意向のみで決める	34.4%	41.0%	27.7%	36.8%	32.0%
3	友人・知人の意見を参考にしながら、自分の意思で決める	17.6%	15.9%	19.3%	21.2%	14.0%
4	友人・知人の意見を最重要視して決める	4.2%	4.4%	4.0%	4.0%	4.4%
5	親の意見を最重要視して決める	3.0%	2.0%	4.0%	3.6%	2.4%

※背景色有りは、上位2項目